

[教育委員会 学校教育課 所管]

○通園通学バス運行業務に要する経費（10010204） 22,728,928円（23,103,892円）

決算書 P276

[保健福祉部 こども課 所管 11,660,000円含む]

〈その他：1,521,000円 一財：21,207,928円〉

*特定財源積算根拠

- ・負担金：通園バス保護者負担金 227,000円
- ・負担金：通学バス保護者負担金 1,287,000円
- ・負担金：通学バス保護者負担金過年度分 7,000円

(目的)

統廃合等により遠距離通学となった児童を対象に送迎バスを運行し、児童の利便性を確保する。

(内容)

飯島小、神大実小、中川小、逆井山小学校の遠距離通学の児童を対象に通学バスを運行し、利用者には保護者負担金一世帯片道1,000円/月、往復2,000円/月とする。

(効果)

送迎バスを運行することにより、児童の遠距離通学による身体的負担の軽減と安全の確保を図ることができた。

○学校安全巡回業務に要する経費（10010206） 11,693,264円（10,976,339円） 決算書 P276

〈一財：11,693,264円〉

(目的)

児童・生徒の安全を確保するため、火災、盗難、不審者などによる不法行為等による事故を予防するとともに教育施設の安全性の向上に努める。

(内容)

学校安全巡回業務委託料 11,693,264円

- ・業務はシルバー人材センターへ委託
- ・小学校13校、中学校4校の計17ヵ所において、日常巡回スケジュール表を作成し固定及び巡回を実施
- ※出入管理
 - ・外来者の受付
 - ・校内での児童・生徒のトラブルを発見した際の学校への通報
- ※巡回
 - ・校舎内外の巡回及び学校周辺の巡回 敷地内の簡易な清掃等

(効果)

児童・生徒の安全を確保し不法行為等による事故を予防し、教育施設の安全性の向上を図ることができた。

○小学校管理運営に要する経費（10020102） 157,880,502円（164,866,948円） 決算書 P284

〈その他：1,049,720円 一財：156,830,782円〉

*特定財源積算根拠

- ・負担金：日本スポーツ振興センター保護者負担金 1,044,660円
- ・諸収入：通学用ヘルメット売払金 5,060円

(目的)

学校教育の効率的な運営を推進するために、各学校への経費を計上し児童の安心した教育環境の整備充実を図るとともに、情緒障害等のある児童の学校生活の支援をする。

(内容)

- ・校医、歯科医、薬剤師、用務員、介助補助員への報酬等 69,353,776 円
- ・各学校の需用費及び通信費等 59,687,428 円
- ・複写機リース代等 1,175,967 円
- ・教材備品の購入 4,671,370 円
- ・日本スポーツ振興センター負担金 2,314,960 円
- ・学校管理を目的として各学校へ配当した学校管理費 20,677,001 円
報償費 6,000 円、需用費 16,275,377 円、役務費 753,633 円、委託料 3,450,783 円、
原材料費 191,208 円

(効果)

学校教育の効率的な運営を推進し、教育環境の整備の充実や、情緒障害等のある児童の学校生活への支援を図ることができた。

○小学校教育振興に要する経費(10020201) 5,117,359 円(5,164,314 円) 決算書 P286

〈国・県：389,800 円 一財：4,727,559 円〉

*特定財源積算根拠

- ・国補：理科教育振興費補助金 389,800 円

(目的)

創意を生かした特色ある学校づくりを通して、児童の学力向上と健全な心身の育成を目指す。

(内容)

- ・理科教材備品、国語用、緑化用消耗品費 1,414,246 円
- ・教育振興を目的として各学校へ配当した教育振興費 3,703,113 円
報償費 96,051 円、需用費 3,269,114 円、備品購入費 337,948 円

(効果)

児童の学力向上と健全な心身の育成を目指し、教育振興のための教材の充実により特色ある学校づくりを推進することができた。

○要保護・準要保護・特別支援教育児童就学援助事業に要する経費(10020202)

15,009,135 円(新規事業) 決算書 P288

〈国・県：522,000 円 一財：14,487,135 円〉

*特定財源積算根拠

- ・国補：特別支援教育就学奨励費補助金 522,000 円

(目的)

経済的な理由によって就学困難と認められる児童及び特別支援教育を受ける児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

(内容)

対象者 280 名

- ・要保護は、修学旅行費の支給及び疾病についての医療費を援助する。
- ・準要保護は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費等、修学旅行費、学校給食費及び疾病についての医療費を援助する。
- ・特別支援教育就学援助は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費等、修学旅行費、学校給食費を援助する。

(効果)

保護者に対して必要な援助を行うことにより、経済的な理由によって就学困難な児童への支援を図ることができた。

○小学校施設管理に要する経費（10020301） 56,765,771円（90,997,759円） 決算書 P288
〈一財：56,765,771円〉

（目的）

小学校施設の維持管理を適切に行うことにより、学校教育を円滑に実施することを目的とし、施設管理の徹底を図り、緊急時にも対応できるようにする。

（内容）

・プール関係薬品、プリンター消耗品等	2,124,412円
・学校パソコン等修繕料	396,473円
・水質検査、浄化槽検査手数料等	688,500円
・電気保安業務、警備業務、エレベーター保守、 高濃度PCB廃棄物運搬・処分等の委託料	13,907,465円
・電算機器等使用料、校地借上料	39,299,049円
・各学校消火器購入費	349,872円

（効果）

小学校施設の維持管理が適切に行われ、学校教育を円滑に実施することができた。

○小学校施設整備に要する経費（10020302） 159,820,733円（426,811,542円） 決算書 P290
〈国・県：23,228,000円 地方債：55,900,000円 その他：125,520円 一財：80,567,213円〉

*特定財源積算根拠

・国補：学校施設環境改善交付金	23,228,000円
・地方債：逆井山小学校校舎トイレ改修事業債	55,900,000円
・諸収入：電気使用料受入金	113,820円
・諸収入：水道使用料受入金	11,700円

（目的）

小学校施設の整備を必要に応じ実施することで、危険防止及び安全な学校環境の維持を図る。

（内容）

各学校の修繕料	19,209,036円
各学校の委託料	4,070,000円
各学校の工事請負費	134,552,000円
公有財産購入費	881,356円
補償補填及び賠償金	1,108,341円

主な修繕料

・各小学校受水槽修繕	・各小学校プールろ過装置修繕
・各小学校消防設備修繕	・各小学校浄化槽修繕

主な委託

・逆井山小学校トイレ改修工事監理業務委託

主な工事

・逆井山小学校校舎トイレ改修工事	・七郷小学校屋外トイレ給水管布設工事
・内野山小学校校舎外壁改修工事	・生子菅小学校放送設備改修工事
・七重小学校敷地整備事業(学校用地取得及び物件移転補償)	

（効果）

小学校施設の整備を必要に応じて実施することにより、児童の安全な学校環境を維持することができた。

○中学校管理運営に要する経費（10030102） 53,710,135円（58,850,033円） 決算書 P292
〈その他：563,960円 一財：53,146,175円〉

＊特定財源積算根拠

- ・負担金：日本スポーツ振興センター保護者負担金 563,960 円

(目的)

学校教育の効率的な運営を推進するために各学校への経費を計上し、生徒の安心した教育環境の整備充実を図る。

(内容)

- ・校医、歯科医、薬剤師、用務員への報酬等 7,733,953 円
 - ・各学校の需用費及び通信費等 30,825,506 円
 - ・複写機リース代等 198,684 円
 - ・教材備品の購入 2,211,330 円
 - ・日本スポーツ振興センター負担金 1,283,805 円
 - ・学校管理を目的として各学校へ配当した学校管理費 11,456,857 円
- 需用費 9,562,955 円、役務費 348,300 円、委託料 1,301,547 円、原材料費 244,055 円

(効果)

学校教育の効率的な運営を推進し、教育環境の整備充実を図ることができた。

○中学校教育振興に要する経費 (10030201) 2,577,811 円 (2,601,662 円) 決算書 P294

〈国・県：255,200 円 一財：2,322,611 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：理科教育振興費補助金 255,200 円

(目的)

創意を生かした特色ある学校づくりを通して、生徒の学力向上と健全な心身の育成を目指す。

(内容)

- ・理科教材備品、需用費等 950,000 円
 - ・教育振興を目的として各学校へ配当した教育振興費 1,627,811 円
- 報償費 19,190 円、需用費 1,258,912 円、備品購入費 349,709 円

(効果)

生徒の学力向上と健全な心身の育成を目指し、教育振興のための教材の充実により特色ある学校づくりを推進することができた。

○要保護・準要保護・特別支援教育生徒就学援助事業に要する経費 (10030202)

20,601,345 円 (新規事業) 決算書 P294

〈国・県：344,000 円 一財：20,257,345 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：要保護生徒就学援助費補助金 30,000 円
- ・国補：特別支援教育就学奨励費補助金 314,000 円

(目的)

経済的な理由によって就学困難と認められる生徒及び特別支援教育を受ける児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

(内容)

対象者 188 名

- ・要保護は、修学旅行費の支給及び疾病についての医療費を援助する。
- ・準要保護は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費等、修学旅行費、学校給食費及び疾病についての医療費を援助する。
- ・特別支援教育就学援助は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費等、修学旅行費、学校給食費を援助する。

(効果)

保護者に対して必要な援助を行うことにより、経済的な理由によって就学困難な生徒への支援を図ることができた。

○中学校施設管理に要する経費 (10030301) 17,797,800円 (31,146,833円) 決算書 P296
(一財: 17,797,800円)

(目的)

中学校施設の維持管理を適切に行うことによって、学校教育の円滑な実施を図る。

(内容)

・プール関係薬品、プリンター消耗品等	730,574円
・学校パソコン等修繕料	193,710円
・簡易専用水道管理検査、浄化槽検査等手数料	134,600円
・電気保安業務、警備業務、エレベーター保守等の委託料	4,737,898円
・電算機器使用料等	11,953,766円
・各中学校消火器購入費	47,252円

(効果)

中学校施設の維持管理が適切に行われ、学校教育を円滑に実施することができた。

○中学校施設整備に要する経費 (10030302) 73,677,257円 (205,211,695円) 決算書 P296
(国・県: 44,243,512円 その他: 15,823円 一財: 29,417,922円)

*特定財源積算根拠

・国補: 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	44,243,512円
・諸収入: 電気使用料受入金	13,776円
・諸収入: 水道使用料受入金	2,047円

(目的)

中学校施設の整備を必要に応じ実施することで、危険防止及び安全な学校環境の維持を図る。

(内容)

各学校の修繕料	6,551,457円
各学校の委託料、手数料	2,899,000円
各学校の工事請負費	64,226,800円

主な修繕

・猿島中学校プールろ過装置修繕	・各中学校消防設備修繕
・南中学校・猿島中学校受水槽修繕	・東中学校浄化槽修繕

主な委託

- ・岩井中学校部室改築工事監理業務委託

主な工事

・岩井中学校部室棟改築工事	・岩井中学校渡廊下屋上改修工事
・猿島中学校階段改修工事	・岩井中学校手摺設置工事

(効果)

中学校施設整備の実施により、生徒の安全な学校環境を維持することができた。

○幼稚園管理運営に要する経費 (10040102) 84,253,149円 (82,762,152円) 決算書 P298
[保健福祉部 こども課 所管 84,119,314円含む]

(国・県: 51,367,618円 その他: 667,470円 一財: 32,218,061円)

*特定財源積算根拠

・国負: 施設型給付費負担金	25,713,574円
----------------	-------------

・国負：子育てのための施設等利用給付費負担金	339,400 円
・国負：子育てのための施設等利用給付費負担金	565,400 円
・国補：保育士等処遇改善臨時特例交付金	267,000 円
・県負：施設型給付費負担金	13,923,079 円
・県負：子育てのための施設等利用給付費負担金	169,700 円
・県負：子育てのための施設等利用給付費負担金	282,700 円
・県補：施設型給付費補助金	9,885,765 円
・県補：教育支援体制整備事業費交付金	221,000 円
・負担金：預かり保育保護者負担金	22,400 円
・負担金：日本スポーツ振興センター保護者負担金	6,510 円
・諸収入：幼稚園給食費保護者納付金	638,560 円

(目的)

幼稚園における適切な健康管理を実施するため、幼稚園医報酬等を計上し園児の安心した教育環境の充実を図る。

(内容)

・園医、歯科医、薬剤師への報酬	125,000 円
・日本スポーツ振興センター負担金	8,835 円

(効果)

幼稚園における適切な健康管理を実施し、園児の安心した教育環境の充実を図ることができた。

○幼稚園施設管理に要する経費（10040201） 3,236,874 円（1,827,448 円） 決算書 P302

〈一財：3,236,874 円〉

(目的)

幼稚園施設の維持管理を適切に行うことによって、幼稚園教育の円滑な実施を図る。

(内容)

・水質検査等手数料及び浄化槽法定検査手数料	17,500 円
・警備業務、浄化槽清掃業務、各幼稚園除草作業	3,045,283 円
・園地借上料	147,840 円
・消火器購入費	26,251 円

(効果)

幼稚園施設の維持管理が適切に行われ、幼稚園教育を円滑に実施することができた。

○幼稚園施設整備に要する経費（10040202） 16,859,370 円（2,322,268 円） 決算書 P302

〈一財：16,859,370 円〉

(目的)

幼稚園施設の整備を必要に応じて実施することによって、危険防止及び安全な幼稚園環境の維持を図る。

(内容)

各幼稚園の修繕料	628,870 円
各幼稚園の工事請負費	16,230,500 円

主な修繕

- | | |
|------------------|------------|
| ・猿島幼稚園便所衛生器具給水修繕 | ・猿島幼稚園建具修繕 |
|------------------|------------|

主な工事

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ・旧七郷幼稚園解体工事 | ・猿島幼稚園給水管漏水改修工事 |
| ・猿島幼稚園隣接公園ターザン遊具改修工事 | |

(効果)

幼稚園施設整備の実施により、園児の安全な幼稚園環境を維持することができた。

○学校保健に要する経費（10060101） 9,464,414円（9,156,447円） 決算書 P330

〈一財：9,464,414円〉

(目的)

健康管理を行うための各種検診検査を実施することによって、園児・児童・生徒及び教職員の健康づくりを推進し維持増進を図る。

(内容)

・学校医、学校歯科医、学校薬剤師への費用弁償	1,300,000円
・学校保健会需用費	549,259円
・オージオメーター検査料等	487,520円
・学校災害賠償補償保険料	297,383円
・心臓病、尿検査等の委託料	6,731,922円
・県学校保健会負担金等	98,330円

(効果)

各種検診検査を実施することにより、園児・児童・生徒及び教職員の健康保持を図ることができた。

○岩井給食センター運営に要する経費（10060202） 229,997,404円（239,572,285円）

決算書 P332

〈国・県：1,029,345円 その他：110,003,626円 一財：118,964,433円〉

***特定財源積算根拠**

・国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,029,345円
・諸収入：電気使用料受入金	48,186円
・諸収入：給食費保護者納付金	108,370,400円
・諸収入：給食費保護者納付金過年度分	1,579,500円
・諸収入：給食用スプーンセット売払金	5,540円

(目的)

栄養バランスに配慮した安全・安心な給食を通し、児童生徒の心身ともに健全な発達と、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ食に対する自己管理能力を養うことに資する。

(内容)

年間給食実施日	185日		
年間給食数及び人員	小学校	306,533食	1,826人
	中学校	170,854食	994人
	職員等	61,652食	337人
スチームコンベクションオープン購入			5,984,000円

(効果)

コロナ禍により保護者負担軽減を目的に、学校給食費小中学校の9月の4日分を免除、小学校2月、3月分の半額免除を実施した。

食材は可能な限り地場産物を使用し、児童・生徒の健康管理と栄養バランスを考慮し、衛生管理に努め一層配慮した給食を提供することができた。また、食育促進事業、学校訪問等を実施することで、学校給食を身近なものとして捉え、食についての興味を持たせることができた。

○猿島給食センター運営に要する経費（10060203） 100,353,798円（105,908,773円）

決算書 P336

〈国・県：349,083円 その他：38,434,790円 一財：61,569,925円〉

＊特定財源積算根拠

・国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	349,083円
・諸収入：給食費保護者納付金	37,989,970円
・諸収入：給食費保護者納付金過年度分	434,900円
・諸収入：給食用スプーンセット売払金	9,920円

（目的）

栄養バランスに配慮した安全・安心な給食を通し、児童生徒の心身ともに健全な発達と、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ食に対する自己管理能力を養うことに資する。

（内容）

年間給食実施日	185日		
年間給食数及び人員	小学校	99,163食	595人
	中学校	60,341食	358人
	職員等	23,778食	138人

（効果）

コロナ禍により保護者負担軽減を目的に、学校給食費小中学校の9月の4日分を免除、小学校2月、3月分の半額免除を実施した。

食材は可能な限り地場産物を使用し、児童・生徒の健康管理と栄養バランスを考慮し、衛生管理に努め一層配慮した給食を提供することができた。また、家庭教育学級等に学校訪問し、食育指導等を行い会食することで、学校給食を身近なものとして捉え、食についての興味を持たせることができた。

〔教育委員会 生涯学習課 所管〕

○社会教育推進に要する経費（10050102） 636,348円（721,463円） 決算書 P304

〈一財：636,348円〉

（目的）

市民の多様化・高度化する学習活動やニーズに対応するため、各団体及び各機関と連携を図り生涯学習活動の促進を図る。

（内容）

・作品展

新型コロナウイルス感染防止対策のため、規模を縮小して実施

開催期間：令和3年11月12日～14日 会場：岩井公民館

入場者数：1,680名 出品数：529点

・成人フェスティバル

新型コロナウイルス感染防止対策のため、2部制による分散および式典時間を短縮して実施。県からの要請により、当日は参加者および職員にワクチン2回目の接種証明または陰性証明の提示を求め、いずれも無い場合は会場にて抗原検査を実施し、陰性の場合のみ入場可とした。

開催日：令和4年1月9日（日）

参加者数（合計）：412名

（平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの市内在住・出身者）

午前の部（10時開式）：（対象）岩井中学校区（参加者数）203名

午後の部（14時開式）：（対象）東中、南中、猿島中学校区（参加者数）209名

- ・中学生学校外ボランティア

活動回数：1回 場所：秀緑・逆井城 登録者数：中学生 71名

(効果)

コロナ禍により市民文化活動が制限され、各種イベントや文化事業なども中止となる中、作品展の開催を通して、市民の文化芸術活動への意欲向上に寄与することができた。

○伝統芸能育成に要する経費（10050103） 55,570円（74,699円） 決算書 P306

〈一財：55,570円〉

(目的)

坂東市の文化発展・振興のため、日本最古の芸能「能楽」を市民に紹介し、身近に触れ親しむことにより、能楽の世界を通じて伝統芸能の育成及び文化意識の高揚を図る。

(内容)

能楽に対する理解を深めるため、子どもから成人を対象に、体験を取り入れた講座を定期的

に実施する。

- ・能楽教室

基本的な謡、所作を学ぶ。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため5～9月まで休講。10～3月まで開講。

毎月第2・第4木曜日に実施

実施回数：9回

参加人数：12人（子ども教室8人、大人教室4人）

(効果)

コロナ禍により実施回数は半減したが、感染防止対策を取りながら能楽を楽しく学び、異年齢交流と文化意識の高揚を図ることができた。

○訪問型家庭教育支援事業に要する経費（10050104） 1,058,311円（1,164,860円）

決算書 P306

〈国・県：696,000円 一財：362,311円〉

*特定財源積算根拠

- ・県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金 696,000円

(目的)

家族形態の変化や経済的問題、地域社会における地縁的なつながりの希薄化等により、様々な問題を抱え込み主体的な家庭教育が困難になっている家庭に、訪問型支援による、家庭や子どもを地域で支える取り組みを推進する。

(内容)

- ・訪問型家庭教育支援推進協議会を設置し、学校や関係団体等との連携・協力の推進を図る。
- ・地域人材を活用した「家庭教育支援チーム」による訪問型の家庭教育支援に取り組む。
- ・R3支援家庭数：19家庭（27名）、義務教育終了者8家庭（8名）
- ・訪問回数：172回
- ・学校とのケース会議：35回

(効果)

- ・届ける支援として家庭を訪問し、保護者や児童生徒に寄り添うことで、社会とのつながりを保つことができた。
- ・全ての家庭の保護者と支援員とが良好な関係を築くことができた。8家庭（13名）に前向きに登校（放課後登校、別室登校等を含む）できるようになる等の成果が得られた。

○青少年センターに要する経費（10050202） 1,114,449円（1,113,296円） 決算書 P308

〈その他：17,860円 一財：1,096,589円〉

＊特定財源積算根拠

- ・諸収入：青少年相談員店舗訪問業務補助金 17,860円

（目的）

次代を担う青少年の健全育成のために、地域に密着した「青少年センター」を設置し、青少年関係団体との連携を図りながら青少年の健全育成に取り組む。また、急激な社会環境の変化や、高度情報化の進展により様々な問題が発生している状況にあり、そうした問題を未然・早期に防止するために相談・指導活動の充実を図る。

（内容）

青少年相談員による各種活動の推進

- ・青少年の健全育成と非行防止のために協力する店舗の登録活動
- ・各地区内の定期的なパトロール
- ・非行防止強調月間に併せた健全育成啓発活動

（効果）

コロナ禍により活動は大きく制限されたが、感染防止対策を取りながら可能な範囲での啓発活動等を推進することができた。

○放課後子ども教室に要する経費（10050203） 8,750,719円（8,189,935円） 決算書 P308

〈国・県：2,100,000円 その他：898,000円 一財：5,752,719円〉

＊特定財源積算根拠

- ・県補：放課後子ども教室推進事業補助金 1,683,000円
- ・県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 417,000円
- ・負担金：放課後子ども教室保護者負担金 898,000円

（目的）

放課後や休日に、小学生を対象として子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちの勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、次代を担う子どもたちの健全育成を支援する。

（内容）

宿題塾

新型コロナウイルス感染拡大防止による休校や特別授業等の影響により、8月20日～9月10日、1月31日～2月18日、3月14日～3月18日の期間を休塾

- ・実施校：岩井第一小学校、岩井第二小学校
- ・実施日：週5日、月～金（祝日、県民の日、学年末・年始休業日、夏季休業日のうち8月13日から8月16日、冬季休業日のうち12月28日から1月4日までを除く）
- ・実施場所：坂東市岩井4638番地 坂東宿題塾
- ・登録者数：小学4年～6年 岩井第一小学校30名 岩井第二小学校20名
※新型コロナウイルス感染防止対策として、定員を50名に減らして実施
- ・指導員数：主任指導員 1名、指導員 9名

（効果）

新型コロナウイルス感染防止対策を図り、守られた環境の中で、子供たちがのびのびと学習することができ、放課後の居場所の提供と健全育成を支援することができた。

○文化財保護に要する経費（10050301） 1,797,744円（558,770円） 決算書 P310

〈一財：1,797,744円〉

(目的)

有形及び無形文化財を保護・保存し、それらを通して郷土の歴史、民俗、伝統文化を伝承していくとともに広く周知することにより、市民の文化的な生活の充実向上に役立てることを目的とする。

(内容)

- ・無形民俗文化財保存団体補助金（計4団体）
猿島ばやし保存会、猿島ばやし保存子供会、神田ばやし保存会、逆井本村祭ばやし保存会
- ・指定文化財補助金
市指定天然記念物 歎喜寺江戸彼岸桜 折れ枝剪定事業
県指定文化財 絵画絹本曼荼羅修復事業

(効果)

文化財の修理修復事業及び団体への助成等により、有形・無形文化財の保護・保存に努め、市民の文化意識の高揚に役立てることができた。

○埋蔵文化財調査に要する経費（10050302） 1,686,480円（4,803,871円） 決算書 P310

〈一財：1,686,480円〉

(目的)

地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産である埋蔵文化財を保護するために試掘調査・踏査を行う。

(内容)

遺跡試掘調査

- ・民間宅地開発等に伴う試掘調査・踏査 19件

(効果)

民間宅地開発等に伴う試掘調査・踏査を行い歴史的遺産である埋蔵文化財を保護した。

○岩井公民館運営に要する経費（10050501） 21,766,917円（22,170,033円） 決算書 P312

〈その他：1,519,662円 一財：20,247,255円〉

*特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 1,366,089円
- ・使用料：公民館使用料 125,400円
- ・諸収入：電気使用料受入金 27,773円
- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 400円

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応するため、岩井公民館施設の適切な維持管理と利用の促進を図る。

(内容)

- ・需用費 7,048,206円
消耗品費 633,869円、燃料費 52,634円、光熱水費 6,099,430円、修繕料 262,273円
- ・役務費 307,229円
通信運搬費 154,729円、手数料 38,500円、保険料 114,000円
- ・委託料 13,946,128円 (単位：円)

委託名	委託料	内容
公民館清掃業務委託料	2,508,000	日常清掃・定期清掃年4回・窓ガラス・カーペット・換気扇清掃
自動ドア保守点検委託料	66,000	年2回
放送設備保守点検委託料	203,500	年2回

花壇管理委託料	261,800	年2回
市公共施設管理公社委託料	7,498,093	施設の維持管理
公民館管理委託料	3,408,735	夜間管理 303 日、昼間管理 66 日

- ・使用料及び賃借料 300,074 円
- ・備品購入費 165,280 円
消火器購入費 126,780 円、感染症対策用備品購入費 38,500 円

(効果)

岩井公民館施設の適切な維持管理と、館内及び敷地内の環境を良好に保つことができた。

○岩井公民館活動に要する経費 (10050502) 789,200 円 (41,574 円) 決算書 P312

〈一財：789,200 円〉

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応した各種の公民館講座を開設するとともに、岩井公民館まつりを支援し、生涯学習活動を促進する。

(内容)

- ・講座数 前期 8 講座：受講生 83 名
後期 3 講座：受講生 31 名
- ・報償費 462,000 円
- ・需用費 300,300 円
印刷製本費 300,300 円
- ・役務費 18,900 円
通信運搬費 18,900 円
- ・負担金補助及び交付金 8,000 円

(効果)

コロナ禍により、第 35 回岩井公民館まつりが中止となり、臨時休館や利用制限など公民館活動の縮小が余儀なくされたが、開館中は感染症拡大予防ガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底することで、安心安全に市民文化活動の機会を提供することができた。

○猿島公民館運営に要する経費 (10050503) 48,616,681 円 (20,196,520 円) 決算書 P314

〈国・県：9,635,000 円 その他：14,273 円 一財：38,967,408 円〉

***特定財源積算根拠**

- ・国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業） 9,635,000 円
- ・使用料：公民館使用料 1,650 円
- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 1,680 円
- ・諸収入：水道使用料受入金 1,671 円
- ・諸収入：電気使用料受入金 9,272 円

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応するため、猿島公民館施設の適切な維持管理と、館内外の環境を整え快適な利用の促進を図る。

(内容)

- ・報酬・職員手当・旅費 1,586,624 円
- ・需用費 4,415,697 円
消耗品費 540,568 円、燃料費 40,860 円、光熱水費 3,394,599 円、修繕料 439,670 円
- ・役務費 136,000 円
手数料 22,000 円、保険料（公民館総合補償制度加入掛金）114,000 円

・委託料 5,148,506 円 (単位：円)

委託名	委託料	内容
庭木等管理委託料	473,000	植木・芝管理委託 年2回
PCB 調査委託料 (新規)	217,800	受変電設備高圧コンデンサ PCB 調査 2台及び交換設置 1台
公民館屋上点検業務委託料	33,000	年1回
公民館管理委託料	1,718,706	夜間管理 303日、昼間管理 66日
車いす用リフト保守点検委託料	99,000	年1回 (2台)
耐震補強工事監理委託料 (新規)	2,607,000	猿島公民館耐震補強工事監理委託

- ・使用料及び賃借料 298,354 円
- ・工事請負費 36,993,000 円
猿島公民館耐震補強工事 36,993,000 円 (新規)
- ・備品購入費 38,500 円
感染症対策用備品購入費 38,500 円

(効果)

猿島公民館施設の適切な維持管理と、館内及び敷地内の環境を良好に保つことができた。

○猿島公民館活動に要する経費 (10050504) 62,008 円 (201,600 円) 決算書 P316

〈一財：62,008 円〉

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応した各種の公民館講座を開設するとともに、さしま公民館まつりを支援し、生涯学習活動を促進する。

(内容)

- ・講座数 前期 2 講座：受講生 29 名
後期 1 講座：受講生 11 名
- ・報償費 55,000 円
- ・需用費 3,858 円
- ・役務費 3,150 円
通信運搬費 3,150 円

(効果)

コロナ禍及び耐震補強工事により、市民講座の開催が 3 講座のみとなったほか、第 16 回さしま公民館まつりが中止となった。臨時休館や利用制限など、公民館活動の縮小が余儀なくされたが、開館中は、感染症拡大予防ガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底することで、安心安全に市民文化活動の機会を提供することができた。

○分館運営に要する経費 (10050505) 15,761,049 円 (12,205,289 円) 決算書 P316

〈その他：6,171 円 一財：15,754,878 円〉

*特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 1,500 円
- ・使用料：神大実分館使用料 550 円
- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 3,280 円
- ・諸収入：電気売払収入 841 円

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応するため、神大実分館施設の適切な維持管理と利用の促進を図る。

(内容)

- ・報酬：会計年度任用職員 2,734,865 円
- ・職員手当：任用職員期末手当 527,558 円
- ・報償費：分館長報償金 650,000 円
- ・報償費：分館主事報償金 2,592,000 円
- ・需用費 1,717,639 円
消耗品費 317,198 円、燃料費 337,040 円、光熱水費 843,401 円、修繕料 220,000 円
- ・役務費 307,628 円
通信運搬費 185,628 円、手数料 8,000 円、保険料 114,000 円
- ・委託料 2,653,306 円 (単位：円)

委託名	委託料	内容
神大実分館施設管理業務委託料	1,816,871	夜間管理 252 日、昼間管理 96 日
自動ドア保守点検委託料	66,000	年 2 回
分館清掃業務委託料	418,000	定期清掃年 6 回、窓ガラス
分館警備業務委託料	316,800	26,400 円×12 月
除草庭木管理委託料	35,635	

- ・使用料及び賃借料 69,003 円
- ・工事請負費 4,448,950 円
七郷分館解体工事費 4,448,950 円
- ・備品購入費 60,100 円
消火器購入費 21,600 円、感染症対策用備品購入費 38,500 円

(効果)

神大実分館施設の適切な維持管理と、館内及び敷地内の環境を良好に保つことができた。

○分館活動に要する経費 (10050506) 1,324,900 円 (900,060 円) 決算書 P318

〈一財：1,324,900 円〉

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応した各種の公民館講座を開設し、また、地域づくりのために活動している地域の分館組織に対し助成等を行う。

(内容)

- ・講座数 前期 11 講座：受講生 113 名
- ・報償費 615,000 円
- ・役務費 18,900 円 (通信運搬費)
- ・負担金補助及び交付金 691,000 円 (分館補助金)

(効果)

神大実分館においては、コロナ禍により、臨時休館や利用制限など公民館活動の縮小が余儀なくされたが、開館中は感染症拡大予防ガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底することで、安心安全に市民文化活動の機会を提供することができた。

○コミュニティセンター運営に要する経費 (10050601) 4,852,218 円 (10,322,503 円)

決算書 P318

〈その他：62,100 円 一財：4,790,118 円〉

* 特定財源積算根拠

- ・諸収入：電気使用料受入金 22,500 円
- ・諸収入：コミュニティセンター看板弁償金 39,600 円

(目的)

市の文化体育の普及振興及び市民の福祉の増進を図り、潤い及び活力のある人間性豊かなまちづくりに寄与するため、既存施設の積極的な活用を図るとともに、施設の整備や備品の充実を図る。また、センターの環境整備に努める。

(内容)

- ①コミュニティセンター施設の整備と利用の促進
- ②各コミュニティセンターの環境整備
- ③地域づくりのためのコミュニティセンター活動を支援する。

- ・ 需用費 2,288,036 円
 消耗品費 53,977 円、燃料費 60,720 円、光熱水費 1,343,829 円、修繕料 829,510 円

- ・ 役務費 227,560 円
 通信運搬費 201,560 円、手数料 26,000 円

- ・ 委託料 1,128,510 円 (単位：円)

委託名	委託料	内容
昇降機設備保守点検委託料	702,240	新町コミセン
清掃業務委託料	187,000	
自動ドア保守点検委託料	33,000	蓮打コミセン
除草庭木管理委託料	206,270	

- ・ 使用料及び賃借料 1,110,912 円
 土地借上料 1,082,850 円、放送受信料 28,062 円

- ・ 備品購入費 97,200 円
 消火器購入費 97,200 円

(効果)

各コミュニティセンターの適切な維持管理と、館内及び敷地内の環境を良好に保つことができた。

○逆井城跡公園管理に要する経費 (10050701) 6,412,843 円 (7,167,643 円) 決算書 P320

〈その他：15,080 円 一財：6,397,763 円〉

* 特定財源積算根拠

- ・ 諸収入：電気使用料受入金 15,080 円

(目的)

市民の憩いの場である城跡公園の環境美化を図り、利用者が快適で安全に利用できるよう維持管理をする。

(内容)

- ・ 需用費 706,443 円
 消耗品費 26,982 円、燃料費 87,624 円、光熱水費 404,407 円、修繕料 187,430 円

- ・ 役務費 60,705 円
 通信運搬費 39,969 円、手数料 20,736 円

- ・ 委託料 5,592,895 円 (単位：円)

委託名	委託料	内容
施設管理業務委託料	5,054,449	庭園内樹木刈込、樹木消毒・剪定、トイレ清掃 除草作業、開閉業務、公園内外の巡回警備等
警備業務委託料	224,400	機械警備
樹木伐採委託料	115,500	樹木伐採
トラクター保守点検委託料	110,546	トラクター点検、整備
遊具点検委託料	88,000	遊具点検

(効果)

計画的な施設の修繕や、管理業務委託による日常的な維持管理の充実により、園内を安全で良好な状態に保つことができた。

[教育委員会 スポーツ振興課 所管]

○学校体育振興に要する経費（10060301） 5,643,004円（3,647,518円） 決算書 P340

〈一財：5,643,004円〉

(目的)

小中学校体育連盟の活動に対して、負担金及び補助金を交付し小中学生の体力とスポーツ精神を養うことを目的とする。

(内容)

小中学校体育連盟において、各種競技の交流試合及び代替大会や市内中学校新人総合体育大会の開催及び県西・県大会等への参加助成を行った。

- ・小中学校体育連盟補助金 3,379,667円
- ・スポーツ振興補助金 1,859,662円

(効果)

小中学生の競技力及び体力向上に取り組み、スポーツを通して小中学生の模範意識の高揚と奉仕の精神を図ることができた。

○社会体育振興に要する経費（10060302） 7,888,127円（4,551,219円） 決算書 P340

〈一財：7,888,127円〉

(目的)

市民の健康増進と体力の向上を図るとともに、生涯スポーツ推進に寄与し、誰もが手軽に始められるスポーツ活動及び日頃の練習成果を発揮できる機会の提供を与えることを目的とする。

(内容)

坂東市スポーツ協会及び各競技部において、近隣大会や市内交流試合を開催した。

- ・各種スポーツ大会の開催
- ・坂東市スポーツ協会補助金 2,095,000円
- ・地区スポーツクラブ補助金 115,051円
- ・スポーツ少年団育成補助金 374,000円
- ・スポーツ振興補助金 20,870円

オリンピックの聖火リレーの実施

- ・聖火リレーモニュメント 225,500円
- ・聖火リレートーチ購入 71,940円

(効果)

スポーツ交流大会等を開催し、市民の体力づくり及び健康増進に役立てることができた。オリンピックの聖火リレーの実施によりスポーツの関心を高めることができた。

○屋内体育施設運営に要する経費（10060401） 20,749,202円（14,628,377円） 決算書 P342

〈その他：3,353,835円 一財：17,395,367円〉

***特定財源積算根拠**

- ・使用料：行政財産使用料 29,435円
- ・使用料：体育館使用料 3,217,900円
- ・使用料：武道館使用料 106,500円

(目的)

雨天時でも使用できる屋内体育施設（総合体育館、猿島体育館、猿島武道館）を安全に安心して使用できるよう施設を整備し、市民の体力維持増進に役立てる。

(内容)

- ・需用費 3,629,784円（消耗品費189,322円、燃料費493,977円、光熱水費1,430,905円、修繕料1,515,580円）
- ・役務費 267,352円（通信運搬費267,352円）
- ・委託料 15,721,726円 (単位：円)

委託名	委託料	内容
放送設備保守点検委託	182,600	総合体育館放送設備保守点検
清掃業務委託	4,003,222	総合体育館・猿島体育館等 日常清掃及び定期清掃
特殊建築物定期報告調査委託	1,210,000	特殊建築物定期報告調査業務委託
体育施設長寿命化計画策定委託	3,106,000	屋内体育施設長寿命化計画策定委託
樹木管理委託	292,714	猿島体育館等 周辺樹木管理
体育施設管理委託	6,143,990	総合体育館・猿島体育館等 体育施設管理
空調設備保守点検委託	237,600	総合体育館・猿島体育館 空調設備保守点検 年2回
総合体育館屋上清掃委託	253,000	総合体育館屋上清掃
総合体育館移動式バスケットゴール処分委託	292,600	総合体育館電動格納式バスケット ゴール撤去業務委託

・使用料及び賃借料 632,720円 (単位：円)

事業名	使用料	内容
リースマット等使用料	618,689	総合体育館・猿島体育館・猿島武道館
NHK放送受信料	14,031	放送受信料

(効果)

体育館・武道館の施設環境を整え、利用者が快適に安全に利用できるよう維持管理に努め、生涯スポーツの普及に寄与した。

○屋外体育施設運営に要する経費（10060402） 35,885,988円（23,171,788円） 決算書 P344

〈その他：4,791,350円 一財：31,094,638円〉

*特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 240,000円
- ・使用料：野球場使用料 1,063,600円
- ・使用料：テニスコート使用料 1,805,650円
- ・使用料：運動公園使用料 12,100円
- ・使用料：緑のスポーツ広場使用料 513,700円
- ・使用料：グラウンドゴルフ場使用料 1,156,300円

(目的)

屋外体育施設（運動公園、野球場、テニスコート、緑のスポーツ広場、グラウンドゴルフ場）

を安全に安心して使用できるよう施設を整備し、市民の体力維持増進に役立てる。

(内容)

- ・ 需用費 10,582,444 円 (消耗品費 263,407 円、燃料費 38,880 円、光熱水費 8,219,395 円、修繕料 2,060,762 円)
- ・ 役務費 408,596 円 (広告料 13,200 円、手数料 395,396 円)
- ・ 委託料 16,551,950 円 (単位：円)

委託名	委託料	内容
放送設備保守点検委託	180,400	岩井球場 放送設備保守点検 年2回
清掃業務委託	551,638	岩井球場・猿島球場 日常及び定期清掃
PCB 調査委託	359,997	岩井球場及び猿島球場高圧コンデンサ PCB 調査委託
体育施設長寿命化計画策定委託	8,301,000	屋外体育施設長寿命化計画策定委託
樹木管理委託	5,311,960	猿島球場・生子運動公園 沓掛球場・内野山運動公園 芝・除草等
夜間照明施設保守点検委託	156,750	猿島球場 夜間照明施設保守点検
グラウンドゴルフ場管理委託	1,690,205	坂東市グラウンドゴルフ場 管理委託

- ・ 使用料及び賃借料 4,517,198 円 (単位：円)

事業名	使用料	内容
土地借上料	3,995,798	坂東市グラウンドゴルフ場 猿島球場
仮設トイレ借上料	521,400	坂東市グラウンドゴルフ場

- ・ 工事請負費 3,630,000 円 (単位：円)

工事名	工事請負費	内容
岩井球場内野整備工事	2,200,000	岩井球場 内野グラウンド整備工事
猿島球場照明制御設備交換工事	1,430,000	

- ・ 原材料費 142,800 円 (川砂購入費)

(効果)

屋外体育施設の施設環境を整え、利用者が快適に安全に利用できるよう維持管理に努め、生涯スポーツの普及に寄与した。

[教育委員会 指導課 所管]

○教育指導事務に要する経費 (10010301) 7,362,994 円 (8,245,159 円) 決算書 P278

〈国・県：2,071,930 円 一財：5,291,064 円〉

* 特定財源積算根拠

- ・ 国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,071,930 円

① 中学校が実施する修学旅行の中止に伴い発生した取消料助成補助金 1,089,075 円

(目的)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で中学校が実施する修学旅行の中止に伴い発生した取消料に対して補助を行い、保護者の負担を軽減する。

(内容)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で中学校が実施する修学旅行の中止に伴い発生した取消料に対する補助を行った。

(効果)

- ・補助金の活用により、新型コロナウイルスの感染拡大により取消料が発生したが、保護者の負担を軽減することができた。

② 中学校が実施する宿泊を伴う共同生活学習の中止に伴い発生した取消料助成補助金

982,855 円

(目的)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で中学校が実施する宿泊を伴う共同生活学習の中止に伴い発生した取消料に対する補助を行い、保護者の負担を軽減する。

(内容)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で中学校が実施する宿泊を伴う共同生活学習の中止に伴い発生した取消料に対する補助を行った。

(効果)

- ・補助金の活用により、新型コロナウイルスの感染拡大により取消料が発生したが、保護者の負担を軽減することができた。

○教育指導充実に要する経費 (10010302) 24,976,728 円 (53,489,872 円) 決算書 P278

〈国・県：2,486,320 円 一財：22,490,408 円〉

* 特定財源積算根拠

- ・県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,948,320 円
- ・県補：理科教育設備整備費等補助金 538,000 円

① 教科書関連事業 17,070,378 円 (45,667,808 円)

(目的)

- ・小中学校の児童生徒の教育指導に必要な教師用教科書並びに指導書を整え、教育の充実に資するとともに、多様化する指導環境に対応することを目的とする。

(内容)

- ・主な事業経費は、おおむね4年に一度の教科書採択替えによる教師用教科書及び指導書等の購入で、教科指導の充実に図る。令和3年度は、中学校の新学習指導要領全面実施に伴い、全教科一式、小学校は不足分を購入した。

(効果)

- ・教師用教科書は、児童生徒と同じものを使い、教科指導上の効果があがった。
- ・指導書に記載されている、それぞれの分野における様々な解説や用語集、ワークシート等を活用することで、教科の学習をより深く児童生徒に理解させることができた。
- ・指導書を活用することで、授業中の児童生徒への学習支援を、より効果的に進めることもできた。
- ・教師が教科書、指導書を有効に活用し、児童生徒一人一人にあった個に応じた学習を進め、確かな学力を身に付けさせることができた。

② 原子力・エネルギー教育支援事業 1,948,320 円 (1,716,000 円)

(目的)

- ・教材・教具等の活用によって、児童の原子力及びエネルギーに関する基礎知識を普及させる

ことを目的とする。

(内容)

- ・プログラミング教材等を活用してのエネルギーについての学習

(効果)

- ・プログラミング教材を活用し、効率的な電気の利用について考えることに通して、エネルギーに対する児童の理解を深めることができた。

○外国語指導助手配置に要する経費（10010306） 46,926,000円（47,190,000円） 決算書 P282
（一財：46,926,000円）

(目的)

- ・小学校における外国語活動及び外国語科の充実に努めるとともに、外国語学習に対する興味・関心を高め外国人との交流を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。
- ・中学校における英語教育の充実に努めるとともに、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・小中学校の児童生徒の外国語活動や英語教育に際し、外国語指導助手が授業に参加することにより、国際理解教育や人権教育の充実に努めることを目的とする。

(内容)

- ・小学校13校に対し9名配置する。
 - ア 学習指導要領に基づく、学習指導案、授業等作成時の情報提供、企画提案、環境整備の援助をする。
 - イ 小学校における外国語活動で、歌や、チャンツ、ゲーム、スモールトークなど、英語の楽しさが味わえるような活動をする。
 - ウ 学校の主催する秋祭り、運動会、卒業式等へ参加する。
 - エ 授業の反省、分析、評価への参加及び、学習指導に関する情報提供をする。
 - オ 小学校教職員に対する研修を行う。
- ・中学校4校に対し4名を配置する。
 - ア 学習指導要領に基づく年間指導計画、学習指導案、授業等作成時の情報提供、企画提案をする。
 - イ 中学校における英語の授業のウォーミングアップ、導入、ドリル、コミュニケーション活動、日本人教師とのインタラクションなどを工夫して行う。
 - ウ 中学校における英語教育で使用する教材研究と教材作成及び教材の提供をする。
 - エ 学校の主催する文化祭、体育祭、卒業式等へ参加する。
 - オ 授業の反省、分析、評価への参加及び、学習指導に関する情報提供をする。
 - カ プレゼンテーションフォーラム、スピーチコンテスト参加生徒の練習を補助する。
 - キ 中学校教職員に対する研修を行う。

(効果)

- ・小学生から、ALTと自然にコミュニケーションを図ることができるため、中学校英語教育との接続が図れている。
- ・外国人と接することにより、自分と異なる文化や考えを尊重する心が育ち、国際理解教育の充実に努めている。
- ・ALTとJTE合同の研修を行うことで、より効果的なチームティーチングにつながっている。
- ・休校期間中は、ホームページで学習動画や音声教材を配信するなど、児童生徒の学習支援を行った。

○学校図書館支援センター推進事業に要する経費（10010307） 4,156,000円（4,162,000円）

決算書 P282

〈一財：4,156,000円〉

（目的）

- ・学校図書館をよりよく機能させ、豊かな読書活動や学校図書館を活用した学習活動の推進を図る。

（内容）

- ・指導課内に学校図書館支援センターを設置する。
- ・各校に1名、学校図書館協力員を配置する。
 - ア 学校図書館担当教諭の指導のもと、学校図書 の整備や学校図書館環境の充実を図る。
 - イ 読み聞かせや図書紹介など、学校図書館を活用した学習活動への協力を行う。
- ・支援スタッフによる巡回指導を行う。
 - ア 学校図書館支援センター事務局との連携のもと、各校の学校図書館担当教諭、協力員への指導助言を行う。

（効果）

- ・全ての小・中学校に学校図書館協力員を配置するとともに、協力員をサポートする巡回指導員として支援スタッフを派遣することで、学校図書館をよりよく機能させ、豊かな読書活動や学校図書館を活用した学習活動の推進を図ることができた。

○TT特別配置事業に要する経費（10010309） 15,178,361円（18,933,991円） 決算書 P282

〈一財：15,178,361円〉

（目的）

- ・県及び国の加配措置のない小中学校、並びに複式学級のある学校に対して、TT非常勤講師を派遣することで、個に応じた学習指導の充実を図ることを目的とする。

（内容）

- ・加配措置のない小規模校（七重小、弓馬田小、飯島小、神大実小、中川小、長須小、生子菅小）並びに複式学級のある学校（内野山小）に対し、TT非常勤講師を派遣する。また、学力向上に課題のある学校に対し、必要に応じてTT非常勤講師を派遣する。

（効果）

- ・該当校において、児童一人一人にきめ細かな学習指導を実施することができた。

〔教育委員会 市民音楽ホール 所管〕

○市民音楽ホール運営に要する経費（10050901） 48,255,431円（146,389,501円） 決算書 P324

〈その他：2,416,453円 一財：45,838,978円〉

*特定財源積算根拠

- | | |
|-------------------|------------|
| ・使用料：音楽ホール使用料 | 2,416,093円 |
| ・諸収入：電子コピー複写サービス料 | 360円 |

（目的）

本市における芸術・文化活動の拠点として、優れた音響を誇る音楽ホールで、施設の長所を生かした個性ある事業の展開を図るために、施設内外の環境を整え、来館者に安全と快適さを提供し、市民の文化意識の高揚と心豊かな市民生活に寄与する。

（内容）

- ・音楽ホール当初予定開館日数 299日 コロナによる臨時休館日数 65日
実質利用可能日数 234日 利用日数 121日 稼働率 52%

- ・ 需用費 14,709,655 円
 - 消耗品費 599,155 円 燃料費 1,306,824 円
 - 光熱水費 10,137,578 円 修繕料 2,666,098 円
- ・ 役務費 667,621 円
- ・ 委託料 22,061,472 円

(単位：円)

委 託 名	委 託 料	内 容
清掃業務委託	5,877,872	日常清掃(毎日)・定期清掃(年6回)
施設設備管理業務委託	7,260,000	施設管理(年12回)
市公共施設管理公社委託	1,428,000	芝・樹木の管理(年間)
舞台保守管理業務委託	5,170,000	吊物(年4回)音響(年2回) 照明設備の保守(年1回)
自動ドア・エレベーター 保守管理業務委託	413,600	自動ドア(年4回) エレベーター(年12回)
ピアノ保守管理業務委託	471,000	ピアノ5台(年1回)
施設広報作成業務委託	561,000	「森からの手紙」(年3回)全戸配布
施設監視カメラシステム 保守管理業務委託	275,000	監視カメラ・モニター機器(年2回)
雑草除去委託	440,000	山林の除草、下草と古木伐採(年1回)
樹木管理委託	33,000	文化ホール駐車場枝垂桜管理(年1回)
屋内消火栓ホース耐圧試験委託	132,000	屋内消火栓ホース耐圧試験委託(3年に1回)

- ・ 使用料及び賃借料 2,620,283 円
 - 電算機器使用料 31,482 円
 - 土地借上料(3件分) 2,095,679 円
 - 放送受信料 36,666 円
 - リースマット使用料 456,456 円
- ・ 備品購入費 158,700 円
 - 消火器購入費 43,200 円
 - 感染対策用備品購入費 115,500 円
- ・ 負担金補助及び交付金 8,037,700 円
 - 公立文化施設協議会負担金 33,000 円
 - 事務研修負担金 4,700 円
 - 文化振興事業団補助金 8,000,000 円

(効果)

文化芸術事業等を実施し、市民文化の向上及び振興を図るとともに、豊かな市民文化の創造に寄与することを目的に年10本の自主事業を企画した。市民参加型事業である3本については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、延期などの措置を取りながら7本の事業を開催した。コロナ禍において文化芸術作品に触れる機会が減っていたため、待望の公演開催に、来場者から普段以上の反響があった。

[教育委員会 図書館 所管]

○岩井図書館運営に要する経費(10050802) 10,323,444 円(16,522,651 円) 決算書 P320

〈その他：20,900 円 一財：10,302,544 円〉

*** 特定財源積算根拠**

- ・ 諸収入：電子コピー複写サービス料 5,300 円

・諸収入：図書館利用カード再発行手数料 15,600円

(目的)

生涯学習の拠点としての機能を充実し、市民の多種多様な学習活動や知的要求、文化的要望に応えるため、資料の整備充実に努め、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動と市内小中学校等との連携により、教育・文化の振興を図る。

(内容)

◎利用状況

(1) 貸出数及びサービス件数

	開館 日数	貸出 点数	貸出 者数	予約 点数	レファレンス サービス	複写 枚数	WEB 貸出 延長	WEB 予約 点数
4月	24	8,419	2,091	103	82	141	240	412
5月	25	9,387	2,036	107	69	59	375	582
6月	25	5,102	1,320	230	28	75	280	719
7月	27	9,759	2,656	139	93	16	330	506
8月	14	5,276	909	111	38	11	198	451
9月	8	4,001	701	66	16	5	69	358
10月	26	8,048	2,152	145	105	27	324	456
11月	22	7,822	2,219	123	87	35	253	404
12月	22	9,248	1,880	118	71	28	328	355
1月	22	8,442	2,041	134	76	0	306	391
2月	22	7,725	2,154	141	100	72	258	306
3月	26	8,440	2,352	117	81	61	288	346
合計	263	91,669	22,511	1,534	846	530	3,249	5,286
1日平均		349	86	6	3	2	9	14

◎図書館の催し物

- (1) ブックスタート（猿島図書館共同事業） 12回 270人参加
- (2) 職場体験・インターンシップ・職場実習受入 1校
- (3) 図書館来館・見学（小学校等） 1校

◎図書館電算システム賃貸借、図書館クラウド使用料等は岩井図書館で計上している。

(効果)

利用者がインターネットで予約や貸し出し延長ができるなど利便性を高め、様々な催し物の開催、学校等との連携により、市民の読書環境意欲の向上につながった。また、ブックスタート事業により、乳児期からの読書の楽しさや絵本を介しての親子のふれあいを認識してもらい、乳幼児の健全な育成を支援することができた。

○岩井図書館資料に要する経費（10050803） 6,724,667円（5,791,446円） 決算書 P322

〈一財：6,724,667円〉

(目的)

市民からの多種多様な生涯学習や文化的要望に応え、かつ学校教育を援助できるように、社会の動向や個々のニーズに即した様々な媒体の図書館資料を収集・整理・提供し、市民の文化の向上に資する。

(内容)

図書館資料購入点数及び蔵書点数 (単位：点)

	購入点数	蔵書点数
図書資料（一般・児童・紙芝居）	2,692	134,227

視聴覚資料	DVD	59	1,239
〃	ビデオ	0	817
〃	CD	50	5,820
	計	2,801	142,103

雑誌 56誌
新聞 8紙

(効果)

幅広い分野の資料を様々な媒体で収集するとともに、市民の要求に応じた資料を収集することで情報の提供が図れた。

○猿島図書館運営に要する経費（10050804） 611,777円（6,427,959円） 決算書 P322

〈その他：4,820円 一財：606,957円〉

*特定財源積算根拠

- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 1,920円
- ・諸収入：図書館利用カード再発行手数料 2,900円

(目的)

生涯学習の拠点としての機能を充実し、市民の多種多様な学習活動や知的要求、文化的要望に応えるため、資料の整備充実に努め、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動と市内小中学校等との連携により、教育・文化の振興を図る。

(内容)

◎利用状況

(1)貸出数及びサービス件数

	開館日数	貸出点数	貸出者数	予約点数	レファレンスサービス	複写枚数
4月	25	4,910	1,215	150	32	19
5月	26	4,809	1,289	166	50	36
6月	18	1,901	511	172	23	2
7月	27	5,053	1,492	106	64	10
8月	14	2,291	490	106	21	2
9月	8	1,907	468	82	15	0
10月	27	4,813	1,304	86	46	25
11月	23	4,219	1,195	64	58	31
12月	23	6,146	1,272	83	42	22
1月	23	5,114	1,306	83	49	9
2月	23	4,635	1,320	52	39	10
3月	27	4,516	1,295	95	40	8
合計	264	50,314	13,157	1,245	479	174
1日平均		191	50	5	2	1

◎図書館の催し物

(1)図書館来館・見学（小学校等）

1件

(効果)

新型コロナウイルス感染症の影響により各種催し物の中止や臨時休館を余儀なくされたが、インターネット検索や予約を活用した図書館資料の利用へとつなげることができた。中学生の職場体験や高校生のインターンシップの受け入れはなかったが、小学校へ学級文庫や授業用の資料として団体貸出などを行い、図書館活動に対しての理解を深め、読書環境の向上につながった。

○猿島図書館資料に要する経費（10050805） 5,711,506円（5,943,028円） 決算書 P324

〈一財：5,711,506円〉

（目的）

市民からの多種多様な生涯学習や文化的要望に応え、かつ学校教育を援助できるように、社会の動向や個々のニーズに即した様々な媒体の図書館資料を収集・整理・提供し、市民の文化の向上に資する。

（内容）

図書館資料購入点数及び蔵書点数 (単位：点)

	購入点数	蔵書点数
図書資料（一般・児童・紙芝居）	1,944	111,575
視聴覚資料 DVD	29	972
〃 ビデオ	0	2,008
〃 CD	21	4,103
計	1,994	118,658

雑誌購入 81誌

新聞購入 9紙

（効果）

利用者が求める図書資料の提供が図れた。基本的図書に重点をおいて購入し、資料の重複購入がないよう各図書館の特徴を生かしながら資料整備をすすめることができた。また、資料館の企画と合わせた資料を収集・提供するなど、坂東郷土館ミュージズとして利用者へのサービスの相乗効果を得ることができた。

[教育委員会 資料館 所管]

○坂東郷土館ミュージズ管理に要する経費（10051001） 15,394,334円（58,805,382円）

決算書 P326

〈その他：62,700円 一財：15,331,634円〉

* 特定財源積算根拠

・使用料：行政財産使用料 60,100円

・諸収入：公衆電話使用料 2,600円

（目的）

利用者に安全で快適な環境を提供し、より一層の利用促進を図る。

（内容）

資料館と図書館を併せたミュージズ全体の施設維持管理費

・需用費 9,287,750円

・役務費 84,698円

・委託料 5,055,756円

(単位：円)

委託名	委託料	内容
天体望遠鏡保守点検委託	308,000	本体・光学系統の定期検査調整
天体観測ドーム清掃委託	215,600	駆動部清掃点検・調整等
清掃業務委託	2,373,956	日常清掃、前庭・池清掃等
自動ドア保守点検委託	184,800	定期点検調整
樹木等管理委託	517,000	剪定、草刈り、薬剤散布
エレベーター保守点検委託	290,400	点検調整、遠隔監視
特定建築物環境衛生管理委託	440,000	空気環境測定、害虫駆除
空調等自動制御装置保守点検委託	660,000	中央監視自動制御機器点検調整

池ろ過装置保守点検委託	66,000	
-------------	--------	--

・使用料及び賃借料 927,630 円 (単位：円)

リースマット等使用料	378,378	マット・モップ、消臭機器
防犯カメラシステム使用料	528,000	
印刷機使用料	21,252	

・備品購入費 38,500 円

感染症対策用備品購入（非接触型体温検知カメラ）

(効果)

施設・設備の適正な管理に努めることによって、利用者の安全性、快適性が確保できた。

○資料館運営に要する経費（10051002） 5,930,282 円（6,177,242 円） 決算書 P328

〈一財：5,930,282 円〉

(目的)

郷土の歴史や文化、芸術作品に触れる機会を提供するなど、身近に文化的環境を用意することで、住民の文化意識の向上を図り、郷土への理解と関心を高める。

(内容)

◇企画展示

(1)企画展「中川祐俊猯下 悟達の書画展」

令和3年7月22日(木・祝)～11月23日(火・祝)

※新型コロナウイルス対策による休館及び9月30日(木)から会期延長

生子・萬蔵院の前住職で、真言宗豊山派管長・総本山長谷寺化主を務めた中川祐俊猯下(1913-2005)の書画や木彫作品を展示した。

(2)企画展「ネイチャーフォト展 ミューズ天体講師が撮った宇宙と大地」

12月11日(土)～令和4年2月13日(日)

郷土館ミューズの天体観望会で長年講師を務める細谷正夫氏が、専門である地質学の取材旅行の際、国内外で撮影した星々、絶景と謳われる自然現象等の画像作品を鉱物コレクション、関係資料とともに紹介した。

(3)企画展「石碑で読み解く郷土の歴史」

令和4年2月26日(土)～5月22日(日)

市内各地に建てられたさまざまな石碑。その拓本や写真、関連資料などを展示し、地域の歴史と知られざるエピソードを紹介した。

◇ロビー展示

「地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」

7月17日(土)～8月17日(火)

※新型コロナウイルス対策による休館措置のため、9月5日(日)までであった会期を早期終了した。

「地球環境世界児童画コンテスト」優秀作品から各国の子どもたちの絵を展示した。

◇所蔵美術品展示

二世五姓田芳柳をはじめ横山大観、小川芋銭、木村武山などの郷土ゆかりの作家の日本画・洋画・版画などの作品を展示した。

(1)4月17日(土)～7月4日(日)

「坂東郷土館ミューズコレクション～楽しみ愛でる優品たち～」

※新型コロナウイルス対策による休館及び6月20日(日)から会期延長

(2)7月22日(木・祝)～11月23日(火・祝)「郷土館ミューズ美術品展」

◇展示室・ギャラリーの貸出し

「第6回 坂東ひな飾り展」 令和4年2月13日(日)～3月5日(土)

◇所蔵資料の貸出し等

- (1) 根本直樹氏（古河第一高等学校教諭） 『茨城県立緑岡高等学校 60 周年記念誌』
「S58 年岩井市営球場こけら落とし記念試合」元岩井高等学校野球部監督橋本實氏に
関する画像データ貸出し
- (2) 茨城県立歴史館 令和 3 年度特別展「華麗なる明治-宮廷文化のエッセンス-」
「明治天皇紀附図稿本第 3 巻」（寄託者承諾済）、「花房義質子爵古稀祝賀詞画冊」
貸出し
- (3) 戎光祥出版株式会社 書籍『常陸南北朝の武士と合戦』
「大宝沼出土太刀」（所蔵者承諾済）画像データ貸出し
- (4) 中村正己氏 古文書「富山俊雄家文書」閲覧
- (5) 結城市教育委員会 坂東市本将門記「漢文」画像データ貸出し

◇天体観望

- (1) 天体講座 5 回実施 111 名参加
- (2) 太陽観望 5 回実施 44 名参加

◇ミュージアムまつり 令和4年2月下旬 土・日曜日
新型コロナウイルス対策のため中止となった。

(効果)

未だ続くコロナ禍のため、感染症予防対策を施しつつ、各分野からの協力を得て展覧会を開催し、地域の知られざる歴史の紹介や芸術文化に親しむ機会を提供することができた。

展示内容の補足及び集大成となるハンドブック等の刊行も好評であった上、例年同様、所蔵資料の画像提供、研究者への協力依頼等も続いている。

天体講座は人数等を制限した上で数回開催することができ、講師による天体现象の撮影記録も適時おこなった。その成果は、市ホームページにて公開するとともに、以後も活用できる資料として保存した。